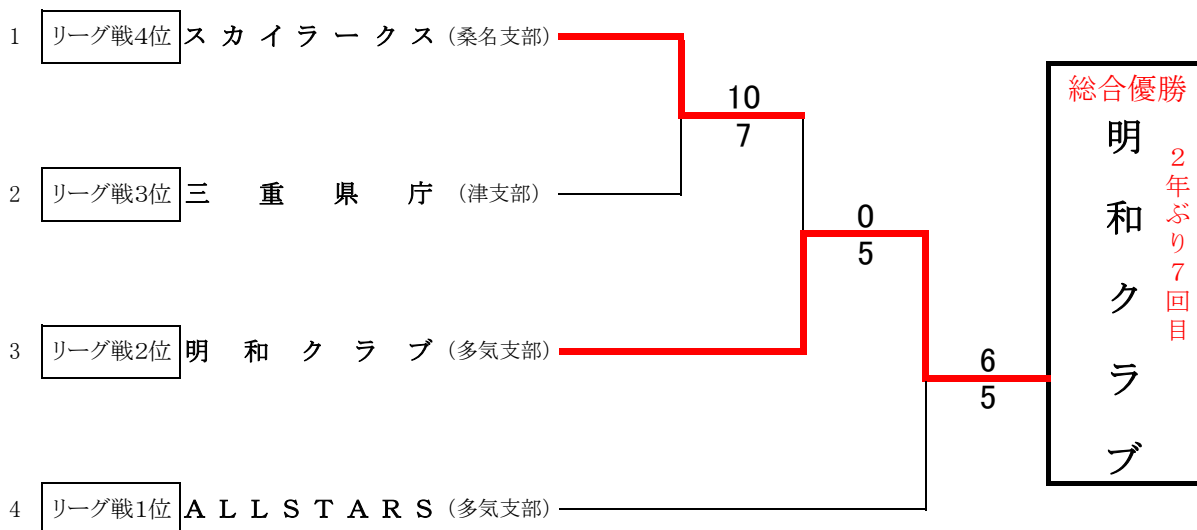


2016三重県男子ソフトボールリーグ順位決定戦

期 日：平成28年10月30日(日)
 会 場：三重県亀山市
 東野公園ソフトボール場



総合順位	
優勝	明和クラブ
2位	ALLSTARS
3位	スカイラークス
4位	三重県庁


2016三重県男子ソフトボールリーグ順位決定戦

第1日	2016年 10月 30日 (日)	開催地: 三重県 亀山市							
《順位決定第1試合》		No. 1							
球場名: 東野公園ソフトボール場		試合時間2:05							
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	(球審) 津留見 滝男
三重県庁	2	0	2	0	0	2	1	7	(一塁) 岩間 大輝
スカイラークス	0	3	0	0	0	7	X	10	(二塁) 古川 良一
									(三塁) 坂本 守
									(記録) 平 美由紀
									--- (捕) 廣田 良邦
									--- (捕) 團野 朝晶
									(本塁打) 倉田 昌彦 (三塁打)
									(二塁打) 大西 達也
									(本塁打) 山本 聡 (三塁打)
									(二塁打)
									(特出記録) 満塁本塁打・山本 聡

【戦評】 スカイラークス、山本選手の満塁弾で逆転勝ち！！

3点ビハインドのスカイラークスは6回裏、2つの四球と7番安東徳光の三遊間安打で無死満塁のチャンスをつかむと、代打越山智之の中犠飛、2番團野朝晶の中前2点適時打で同点。3番岩木忠も三遊間安打で続き、4番山本聡が初球を右中間へグランドスラム、一気に試合をひっくり返した。3回途中から登板の古賀敬英投手が7回表ソロ本塁打を打たれたが後続を押さえ、順位決定第2試合へ進出した。

三重県庁は初回2本の適時打で先制し、逆転された3回は4番中野真豊の二遊間2点適時打、6回にも2本の適時打で優位に進めていたが、リードを守れず今季の4位が確定した。



《順位決定第2試合》		No. 2							
球場名: 東野公園ソフトボール場		試合時間1:40							
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	(球審) 中川 宏志
明和クラブ	0	0	2	1	0	0	2	5	(一塁) 嶋村 明彦
スカイラークス	0	0	0	0	0	0	0	0	(二塁) 中村 公彦
									(三塁) 大堀 廣治
									(記録) 布本 めぐみ
									--- (捕) 小林 俊成
									--- (捕) 團野 朝晶
									(本塁打) 橋爪 秀幸, 小林 俊成 (三塁打)
									(二塁打) 北村 尚也, 高山 諒
									(本塁打) (三塁打)
									(二塁打) 安田 昌弘
									(特出記録)

【戦評】 明和クラブ、坂本ー新山投手の完封リレーで優勝決定戦へ！！

明和クラブは3回、1番橋爪秀幸が右中間へツーランを打ち先制。4回に無死三塁から6番高山諒が中犠飛で追加点を挙げ、7回には9番小林俊成の左越えソロと4番西川卓哉の左犠飛でダメを押し、投げては坂本正浩・新山隼輝両投手が共に被安打1ずつに押さえ完封リレーで頂上決戦に駒を進めた。

スカイラークスは4回、5番安田昌弘の左翼線二塁打で二死二三塁とチャンスを作るもあと一本が出ず、3位で今季を終えた。



2016三重県男子ソフトボールリーグ順位決定戦

第1日 2016年 10月 30日 (日)

開催地: 三重県 亀山市

〈優勝決定戦〉

球場名: 東野公園ソフトボール場

No. 3

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	試合時間2:28	計	(球審)
明和クラブ	0	0	3	1	0	0	0	2		6	岩間 大輝 (一塁) 津留見 滝男 (二塁) 坂本 守 (三塁) 古川 良一 (記録) 平 美由紀
ALLSTARS	0	0	0	1	0	1	2	1		5	

(バッテリー)[勝:○, 負:●]

先攻 (投) ○新山 隼輝 --- (捕) 小林 俊成
 後攻 (投) ●大川 直輝 --- (捕) 川崎 圭祐

先攻 (本塁打) 北村 尚也 (三塁打) _____
 (二塁打) 小林 俊成, 浅沼 洵平
 (長打) _____

後攻 (本塁打) 三島 大輔, 西村 真志 (三塁打) _____
 (二塁打) _____

(特 出 記 録) _____

【戦評】 明和クラブ新山選手がV打、タイブレーカーを制し2年ぶりの総合優勝！！

優勝決定戦にふさわしく緊迫した展開のまま7回を終えタイブレーカーに突入。8回表、明和クラブは8番早川真祐の投強襲安打などで一死二三塁とすると1番新山隼輝が追い込まれながらも一二塁間を破り二者が生還、勝ち越しに成功した。

その裏、新山投手は1点を返されなおも一死一三塁とサヨナラの走者を出したが後続二者を抑え絶体絶命のピンチを切り抜けた。

ALLSTARSは6回に2番三島大輔のソロ、7回には二死二塁から1番西村真志のツーランで同点に追いつき、リーグ1位の意地を見せたが、3つのダブルプレイを喫したのが痛かった。

決勝2点タイムリーを打ち8回を完投した明和クラブ・新山隼輝選手が最優秀選手に輝き、明和クラブが2年ぶり7度目の栄冠を手にした。

今季のリーグ締めくりにふさわしい好試合であった。



明和クラブ(多気支部) ↑



ALLSTARS(多気支部) ↑

